

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月28日

事業所名 ひまわり学園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、 改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改 善内容または改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	・活動の場所、絵本の場所を分けることでメリハリがついてよいと思う	
	② 職員の配置数は適切である	10	1	・職員の休みが重なると人手不足になりバタつくことがあるので、シフトを決める時配慮してほしい。 (2名) ・不足時は、必要に応じてクラスに職員が入る事で、スムーズに活動することが出来ている。 ・足りないように思う。もう少し人がいたほうが充実してくると思う。	・職員の休みが重ならないよう、配慮したいと思います。 ・人的には、国の基準よりも多く配置していますが、あらかじめ、慌てることのないように事前に自分の活動が確認できるような仕組みを皆さんと作っていきたいと思います。
	③ 生活空間は、本人に分かり易く構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	1	・個々に応じた環境設定は十分でないところもある。 ・歩行が不安定な子にはバリアフリーが不足している。トイレ、園庭等もう少し改善が必要。 ・各クラスが構造化されている。遊戯室にはバリアフリー化で手すりがついているが使用する子がいない。逆に手すりに登ってしまう子がいて危険だった。 ・個別課題は一人一人に仕切りがあるため、分かりやすいように思う。 ・構造化されていることで集中して課題に取り組みやすくなっている。	・トイレや園庭などについて、歩行が不安定なお子さんへの改善に取り組みたいと思います。
	④ 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0	・個々に応じた環境設定は十分でないところもある。 ・毎日清掃していることで、生活臭もなく快適な環境だと思う。 ・曜日ごとに決められた清掃によって清潔が保たれている。	
業務 改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標と設定の振り返り）に、広く職員が参加している	11	0	・毎日、振り返りを行うことで、次の支援に活かすことができた。また、パートさんにも伝達できていた	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	11	0	・毎年実施し、ご意見を把握することができていた。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者等向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の広報やホームページ等で公表している	10	0	・広報に掲載している。 ・家族に配布している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	3	・分からない ・昨年度に監査を実施した。	外部評価を行う取り組みを来年度実施していく予定です。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修を実施することができている。 ・課題作成のための研修に参加でき、良かった。 ・セミナーや研修に参加することができていた。 	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント・ケース・課題については随時振り返りや療育支援会議等で分析し作成することができている 	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない ・遠城寺発達検査を活用している。 ・視覚カードを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたアセスメントツールは必要だと思っています。取り入れる予定です。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと計画に盛り込まれ、実施されている。 	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に実施されている。 ・支援計画をもとに毎月の目標を設定している。 ・毎月、療育支援会議によって共有することができている。 	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の活動については、メインのみで行っているため、その日の流れについて打ち合わせが必要。 ・政策・季節の行事、誕生会等は、役割を決めてチームで行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰が入っても、お子さんのプログラムでの支援内容が分かるように、マニュアルの作成にも力をいれていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・メインの職員が1週間ごとに交代するため、プログラムの固定化はあまり見られない。 ・毎日被らないようにしている。 	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動については、機能訓練士を交え、計画を作成し、実施することができた。 	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝会で特記があった時等は随時、報告できている。 ・朝会で確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間差で出勤する職員への申し送りは、園長や他の職員からも伝えるようにしていますが、皆が確認できるように朝会の日誌の様式変更を考えています。
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが帰った後、毎日振り返りを行い、共有・改善することができている。（4名） 	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ほのぼのシステムで詳細に記録する事ができている。（4名） 	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回モニタリングを実施し、見直し等を行っている。 		
	㉑	児童発達支援事業所サービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参加している	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・近況を話せる場（共有できる場）があると良い。 	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、保健師を交えて情報共有をすることができた。 	

⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援をしている場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	0	・未実施	・今後の状況により、準備を進めていく必要があると思います。
㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援をしている場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	0	・未実施	・今後の状況により、準備を進めていく必要があると思います。
㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	0	・就学前の移行支援会議を放デイ職員を含め、関係機関で行う事ができていた。 ・相互の見学を行ったうえで情報共有の場が設けられていた。	
㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	0	・資料を作成し情報共有を行った。 ・移行支援会議にて情報共有をする事ができた。	
㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	0	・新潟県発達障がい者支援センターライズの研修を受け、発達について理解することができた。 ・発達相談室との情報交換を行っている。	
㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	7	・コロナ禍のためないと思う。 ・共同の行事や転園児の交流はあるが、そうでない児が直接的に交流できる機会がない。 ・移行支援としての交流を行ったものの、日々の生活の中での交流は運動会のみである。(※交流にはなっていないかもしれない) ・運動会は保育園と合同で行ったが、日常での交流はほとんどなし。 ・同じ建物に保育園があるのに、現状ほとんど交流がないように思う。コロナ禍で仕方ないが、もっと交流の場を設ける必要がある。 ・同じ建物なのに、一緒に遊ぶ機会がなかった。(コロナ禍の影響があると思うが) ・西園保育園との交流を図ることができた。	・コロナ禍で、感染が拡大しており交流はほとんどない状況です。しかし、コロナが収まったら、随時開催します。
㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1	・分からない ・協議会に定期的に参加することができていた。	・協議会はありますが、コロナ禍で対面会議や研修も少ないのが現状ですが、積極的に参加し、フィードバックできるようにします。
㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	・送迎時にご家族へお伝えすることができていた。 (2名) ・連絡帳や送迎時に子どもの様子を伝えあっている。(2名)	

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングは行っていない。（2名） ・身体調和セミナーを実施していた。 ・座談会や保護者が参加できる研修を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレント・トレーニングを始め、その他必要な研修に参加し、保護者へ還元できる家族支援プログラムを増やしていきたいと考えています。現在、行っている個別相談会や課題が起きた時にも、個々の家族に対応策を提示して協働する仕組みは続けていきます。
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に説明することができている。 	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「自童発達支援の提供すべき支援」のねらいおよび支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと同意を得ることができていた。 	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り会議で情報を共有し意見を出し合っている。 ・相談会を行っている。 ・悩みや困り感については職員間で共有し、送迎時などに助言・支援を行うことができた。 	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に活動することができている。 	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員を設定し、ポスターを掲示している。 	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・おたより、ホームページ記載等している。 ・月1回の広報とぽっかぽかの発刊がなされている。 	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに写真を載せる場合は、許可をとってからにしている。 	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールカードや絵カードを活用できている。 	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	11	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、園開放するも参加者はいない。（3名） 	新型コロナウイルス感染症予防の観点より実施していません。次年度以降、検討します。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回避難訓練をしている。 ・各委員会で話し合われた内容を元に策定されている。 ・毎月、様々な訓練を実施している。 	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の訓練を行っている。 ・毎月の避難訓練とともに委員会での話を受け、備えることができている。 ・防災グッズ（食料の備蓄）も必要だと思う。 	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬についての薬の知識、てんかんの知識についての研修会があると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬の知識、てんかんの研修会については、次年度行う予定です。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応について個別対応がなされている。（食器、献立表等） 	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等で共有されている。 	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会が月1回開催され協議されている。 	

④7	どのような場合にやむお得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束は実施していない。(2名) ・身体拘束が必要な方がいらっしゃらないので、保護者に説明していない。計画にも記載していない。(2名) ・説明の場にはいないので分かりませんが、身体拘束については話していないのかなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書に、人権擁護及び虐待防止について記載されており、説明をしています。身体拘束については、該当者がいないため、説明していません。今後、身体拘束を行う場合がある時には、丁寧な説明を行います。
----	--	---	---	---	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。